

〇〇もんずら

非日常ではなく



画 大久保担

2011年3月11日（金）14時46分、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の地震が発生した。釜石小学校の児童184人の大半が下校していた。ある3年男児は、一人家にいた。「テーブルの下にかくれたり布団をかぶったりしたけど、揺れが少し収まってから一人で逃げた。自分の命は自分で守るって教わっていたから、避難場所に行った。」男児の母「私は家に戻りませんでした。子どもは避難場所にいると思っていた。」

7月31日、むつ市で開催された青森県学校保健・安全・給食研究大会での基調講演。震度7を観測した熊本地震が発生したのは3日前。防災についてこれまで以上に考え意識する一日となりました。〔能登に学ぶ～被害状況と復興に向けて〕〔東日本大震災の教訓について～大川小学校事故、釜石の出来事〕〔今求められる実効性のある防災教育〕。その中で強く印象に残ったのが、冒頭の母子の行動だったのです。「災害が起きたらどう行動するか」を、ふだんから母子でしっかり共有していることが伝わってきました。

さて、**9月1日は防災の日**。災害への備えを見直し、命を守る行動を習慣化するための啓発日。皆さんの備えはいかがですか？災害はいつくるかわかりません。どこで被災するかわかりません。家族全員が一緒にいるとは限りません。

もし地震が起きたら、どこに逃げる？

防災情報収集はどうする？テレビ？ラジオ？SNS？

水害が起きそうだったら、どのタイミングで逃げる？

スマホが使えないとき連絡はどうするの？

誰に声かけたらいいの？



防災グッズそろえています、非常食や水はストックしています。というあなた（実は私自身）、使ってみましたか？食べてみましたか？いつも持ち歩くバッグに、必要なものは入っていますか？ハザードマップ見ましたか？・・・・・・

家の中の防災どこから手をつけたらいいの？キッチンには日用品がいっぱい。包丁やハサミ出しっぱなしにしてませんね。食器棚は重い皿が上の方にあるよ。普段使わないのはどうする？冷蔵庫の扉は大丈夫？リビングは？寝室は？安心して暮らせる家づくりと備えの見直しは今からでもと、少しずつです。

「靴はちゃんとそろえておきなさい。寝るときは服は枕元にたたんでおきなさい。」子どもの頃母に何度も言われました。命を守るためにふだんが大事だという教えだったことを感謝と共に思い出しています。

